

あたたかい地域と寒い地域、高地と低地①

めあて：気候や地形に特色のある地域を比べよう。

<問題>

日本から練馬区の小学校に留学にやってきたトムと、そのクラスメートの太郎が話しています。

トム「この前の春休みに2度旅行へ出かけたんだけど、おどろいたよ。」

太郎「なにがあったんだい？」

トム「3月だっていうのに、1つはとてもあたたかくて、もう1つは反対にとっても寒かったんだ。いったい日本の気候はどうなっているんだい！」

太郎「それはびっくりだね。トム、君はどこへ行ったの？」

トム「沖縄県と北海道さ。それにしても、おなじ日本なのにここまで気候が違くと、ぼくたちとはまた違ったらしをしているんじゃないかなあ。」

太郎「たしかにそうだね。もう少し詳しく調べてみようか。」

2人はいっしょに沖縄県と北海道の気候や暮らしなどについて調べることにしました。

○沖縄県や北海道という地名を聞いてどんなことを思い浮かべるだろう。自由に書いてみよう。

<p>沖縄県</p>	<p>北海道</p>
------------	------------

単元の学習が終わった時に、見返してみよう。

◎教科書 p.26,27 やインターネットの情報を参考に、沖縄県と北海道の気候や暮らしについて

調べ、下の表を完成させよう。

	沖縄県	北海道
位置	国土の南側	国土の北側
1年間の平均気温		
4月ごろの服装 (p.26ア～エの写真から)		
特産品やおみやげ		
そのほかに調べて 気づいたこと		

インターネットを用いて調べるときには、  
 沖縄→「沖縄こどもランド」  
 北海道→「ふむふむ北海道」が、わかりやすくおすすめです。

ここで、トムと太郎は他にも特色のある地域はないか考えてみました。  
 そして、地形に特色のある長野県南牧村（高いところにある地域）と、千葉県香取市（低いところにある地域）について、同じように地形や暮らしなどについて比べてみることにしました。

◎教科書 p.26～27 やインターネットの情報を参考に、南牧村と香取市の地形や暮らしについて調べ、下の表を完成させよう。

	長野県南牧村	千葉県香取市
標高		
まわりの地形		
4月ごろの服装 (p.27ク～サの写真から)		
特産品やおみやげ		
そのほかに調べて 気づいたこと		

インターネットを用いて調べるときには、それぞれの市、村の公式ホームページや観光マップなどを参考にするといいでしょう。

### ☆まとめ

気候や地形に特色のある地域には、服装や特産品などにも違いが見られた。

服装の違い……人々の暮らしの違い

特産品の違い……産業の違い

⇒気候や地形が、暮らしや産業に影響しているのだろうか？

影響しているのなら、どのように？

次回へつづく

あたたかい地域と寒い地域、高地と低地②

めあて：気候や地形と、くらしや産業とのつながりを予想しよう。

<問題>

前回に続いて、トムと、太郎が話しています。

トム「この間調べた沖縄県や北海道、それから南牧村や香取市には、気候や地形の違いだけじゃなく、くらしや産業にも違いが見られたね。」

太郎「そうだね。どうやら気候や地形が違くと、そこに住む人々のくらしや産業も大きく変わっているようだね。」

トム「たしかに……。でも、暑かったり標高が高かったりすることが、どうしてくらしや産業を変化させるんだろう。どんな関係があるのかな？」

太郎「それにはまず、これらの地域の気候や地形について詳しく調べてみる必要がありますよね。」

2人は調べる地域を、気候や地形が練馬区とは大きく異なる「沖縄県」と「南牧村」にしぼることにしました。そして気候や地形について、雨温図やインタビューをもとに詳しく調べました。そして調べた情報から、予想を立てることにしました。

◎教科書 p 28～29 の雨温図や写真、インタビューを見て、

「沖縄県」と「野辺山原（南牧村）」の気候や地形について気づいたことをまとめよう。

～考えるときのポイント～

【沖縄県】

- ・沖縄県には8月、9月に雨が多い。その正体は何だろうか。
- ・沖縄県に住む人々はどんなくらしの工夫をしているだろうか。予想してみよう。
- ・カの写真や「沖縄県に住む人の話」から、沖縄県の農業のポイントを予想しよう。

【野辺山原(南牧村)】

- ・気候の特ちょうは何だろうか。雨温図や「野辺山原に住む人の話」からまとめてみよう。
- ・野辺山原に住んでいる人々は、どんなくらしの工夫をしているだろうか。予想してみよう。

沖縄県の資料（ア、カ、沖縄県に住む人の話）を見て気づいたこと

野辺山原(南牧村)の資料（ウ、ク、野辺山原に住む人の話）を見て気づいたこと

次回からは、それぞれの地域についてよりくわしくみていこう。



### あたたかい気候と沖縄県の農業・漁業

めあて：あたたかい気候に合った農業・漁業の工夫について調べよう。

#### <問題>

あたたかい気候ならではの農業・漁業には、どんなものがあるのだろうか。

◎教科書 p.32 の資料エから、沖縄県には主にどのような農産物が育てられているか調べ、書き出

してみよう。次に資料ウをみて作付面積の1番大きいものに丸をつけよう。

作物を植えた田畑の面積

[ ]

◎さとうきびの農作物としての特ちょうはなんだろう。「さとうきび農家の上地さんの話」をよん

でまとめてみよう。

[ ]

◎沖縄では、「きく」の生産もさかんです。あたたかい気候を生かして、農家の人々はどんな工夫

をしているのでしょうか。教科書 p.33 の資料を見てまとめよう。

#### 【沖縄県での「きく」の生産について】

・「きく」は、( )の時期に生産しやすいけれど、あたたかい沖縄では一年中生産することができます。

・沖縄県では、他の地域では生産することができない( )の時期に多く生産しています。そうすることで、冬にも日本中の人にきくを届けることができます。

・きくの花が開く時期を調節するために、( )しています。

◎今回の学習をもとに、沖縄県の農業・漁業についてまとめてみよう。

#### ☆まとめ

～まとめるときのポイント～

- ・どんな作物が育てられていただろう。
- ・作物には、どんな特ちょうがあっただろう。
- ・どんな工夫をしていたらう。

暑さや台風と、沖縄県の人々の暮らし

めあて：沖縄県の人々の暮らしの工夫について調べよう。

<問題>

沖縄県に住む人々は、どのような暮らしの工夫をしているのだろうか。

○ 沖縄県の気候の持ちょうをふりかえろう

・一年中（ ）地域です。

・毎年8月から9月にかけて、大きな（ ）が南からやってきます。

⇒沖縄に住む人々は、大きな（ ）への備えが必要です。

◎ 沖縄の伝統的な家から、気候に合わせた暮らしの工夫を探そう。

教科書 p.34 **エ**の写真を見て、気づいたことを書きだしてみよう。

～考えるときのポイント～

- ・暑さ対策を探そう
- ・台風対策を探そう

◎ 沖縄県では他にも「水不足」という問題になやんでいるようです。なぜ水不足が起こる原因と、そのためにどんな対策をしているのか調べてみよう。(教科書 p.34 の文章や p.35 の資料キを見てみよう。)

水不足が起こる原因

⇒水不足対策のために、（ ）や、（ ）を建てた。

◎今回の学習をもとに、沖縄県に住む人々の暮らしの工夫についてまとめよう。

☆まとめ

～まとめるときのポイント～

- ・沖縄の気候や地形には、人々が生活する上でどんな問題があっただろう。
- ・その問題を解決するために、どんな工夫や対策をしているのだろう。

◎最後に、教科書 p.35 「わすれてはならない歴史」を読んで、沖縄県が抱えている大きな問題について確認しよう。

高地の自然条件と、野辺山原のべやまはらの農業

めあて：高地の自然条件に合った農業の工夫について調べよう。

<問題>

高地ならではの農業には、どんなものがあるのだろうか。

○ 野辺山原の気候や地形の特ちょうをふりかえろう。

- ・野辺山原（南牧村）は、標高（ ）mにある高地です。
- ・気候は、夏であっても（ ）地域です。

◎ 野辺山原の地形について、くわしく調べよう。教科書 p.36 **ア**の等高線をみると、野辺山原は

なだらかな地形と言えるだろうか。それとも、急でけわしい地形と言えるだろうか。

（ ）な地形

農業に  
(適している・適していない)

～地形の読み取り方～

- ・等高線の線と線の間がせまいところ  
……急で、けわしい地形
- ・等高線の線と線の間が広いところ  
……なだらかな地形

◎教科書 p.36～37を見て、野辺山原で育てられている野菜を調べよう。そして、それらの野菜

にはどんな特ちょうがあると言えるのか考えてみよう。

野菜の種類

野菜の特ちょう

～ヒント～  
沖縄県では、あたたかいところで育ちやすくて、寒さに弱い作物が育てられていたね。

◎ 野辺山原ではこれらの野菜をいつごろ収穫しているのだろうか。教科書 p.36 **ウ**の資料で調べよ

う。

収穫の時期は、（ ）月から（ ）月ごろ。

⇒その時期、他の地域の気候はどうなっているだろう。

◎今回の学習をもとに、野辺山原の農業や工夫についてまとめてみよう。

☆まとめ

高地の自然条件と、野辺山原の<sup>らくのう</sup>酪農・観光

めあて：高地の自然条件に合った酪農や観光の工夫について調べよう。

<問題>

高地ならではの産業には、どんなものがあるのだろうか。

◎教科書 p.39 **キ** の資料から、野辺山原を訪れる観光客の数を読み取ろう。

観光客が多く訪れている時期……… ( ) 月から ( ) 月ごろ。

◎この時期に観光客がたくさんやってくるのはなぜだろう。これまでの学習をもとに考えよう。

( ) 月から ( ) 月に観光客が多い理由

◎ 観光客は、どんなイベントを楽しんでいるのだろうか。p.38,39の写真から探してみよう。

野辺山原への観光客が訪れる場所や、参加しているイベント

◎野辺山原で行われている「酪農」という言葉について、辞書やインターネットで調べよう。

どのような産業だろう。

野辺山原の他にはどんな地域で行われているのだろうか。  
共通点はあるだろうか。

◎ 今回の学習をもとに、高地ならではの産業（観光や酪農）についてまとめよう。

☆まとめ

～まとめるときのポイント～  
・野辺山原では、どんな時期に、どんな気候を生かした工夫をしているのだろうか。  
・具体的に、どんな取り組みがあっただろう。

⇒一方で、冬の観光客は少ない………冬には厳しい寒さがやってくる。

あれ地や寒さと、野辺山原の人々の暮らし

めあて：高地の自然条件と向き合う人々の取り組みを調べよう。

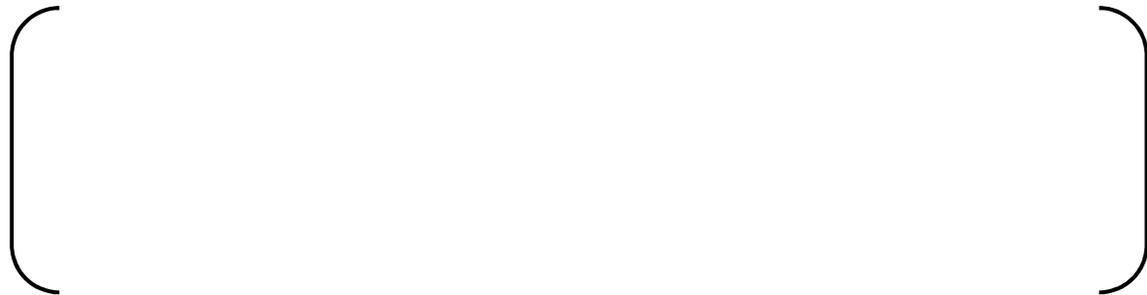
<問題>

野辺山原の自然条件には、どんな問題があるのだろう。  
野辺山原に暮らす人々は、それらをどうやって乗り越えたのだろう。

◎教科書 p.40 の文章を読んで、野辺山原の自然条件にはどんな問題があったのか、2つ探して書き出してみよう。

- ① ( ) ② ( )

◎あれ地の開拓に関する資料(教科書 p.40 ア、イ、「南牧村美術民俗資料館の井出さんの話」)を見て、気づいたことや感じたことを書いてみよう。



～資料を見るときポイント～  
・開拓するときには、どんな作業が必要だったのだろう。  
・もし自分が開拓に参加していたら、どんな気持ちになっただろう。

◎教科書 p.41 の文章や資料オ、カを見て、野辺山原の開拓と農業の関係をまとめよう。

- ・1960年ごろ…… ( ) の生産がさかんになっている。  
⇒次第に作付面積が減って、あまり生産されないようになる。

- ・2000年ごろ…… ( ) や ( )、( ) の生産がさかんになっている。

- ・1960年ごろに生産されていた野菜がその後生産されなくなったのは…… ( ) が原因だから。

- ・野辺山原の人々が土地に牛のふんを混ぜたのは…… ( ) ためです。

◎ 今回の学習をもとに、野辺山原の自然条件の問題をどうやって乗り越えたのかまとめよう。

☆まとめ

～まとめるときのポイント～  
・野辺山原の自然条件には、どんな問題があっただろう。  
・それを乗り越えるために、人々は何をしたのだろう。